

今後の森林・林業政策（案）

福井県農林水産部
県産材活用課・森づくり課

新・ふくいの森林・林業基本計画（仮称） 骨子案

【基本理念】 儲ける林業・稼げる林業で山の価値を最大化、すべての人に森林の恩恵を（案）

【目標】 県産材生産量 24.6万m³（R4）→検討中（R11） 林業生産額 29億円/年（R4）→ 検討中（R11）

【計画期間】 令和7年度～令和11年度

【目指すべき森林の姿】

木を伐って使い、植え育てるサイクルを通じ、林業に携わる人々だけでなく、県民一人ひとりが緑豊かな自然から恩恵を享受できる「次世代に残せるふくいの森林」を目指す。

大きな林業・小さな林業の適地のイメージ例



Fukui Forest Design推進プロジェクト

I. 「ふくい型林業経営モデル（大きな林業）」の推進

- ふくい型林業経営モデル（大きな林業）の定着・拡大を図り、効率的な主伐・再造林を推進

II. 「自伐型林業（小さな林業）」の推進

- 山村地域の活性化に寄与する自伐型林業の着実な推進

III. 県産材の需要拡大の推進

- B材工場の誘致等による県産材需要の拡大
- 需要に的確に対応できる合理的な流通体制の構築
- 県産材利用の理解を深めるふくいの木運動の継続

森林を「守り」「活かす」「慈しむ」プロジェクト

- 山地防災力を強化した治山事業等の推進
- 特用林産物の供給強化および地域資源を活用した新たな森林サービスの創出
- 公益的機能が発揮できる森林づくりの推進
- 全国育樹祭の開催理念を承継した緑と花の県民運動の永続的な展開

Fukui Forest Design推進プロジェクト

I. 「ふくい型林業経営モデル（大きな林業）」の推進

■ ふくい型林業経営モデル（大きな林業）の定着・拡大を図り、効率的な主伐・再造林を推進

(1) 主伐地の集約化によりふくい型林業経営モデルを面的に展開

- ・ 航空レーザ計測データの活用による施業地確保と計画的な路網等の整備
- ・ 低密度植栽、下刈り回数、獣害防止施設の適切な設置方法等、維持管理を含めたコスト低減手法の確立と普及
- ・ 主伐をみすえた間伐によって「ふくい型」へのスムーズな移行を促進

(2) 必要な県産種苗の安定供給体制の構築

- ・ 特定苗木等の生産に必要な採種穂園の整備
- ・ コンテナ苗の県内需要に対応していくための大規模生産施設の整備
- ・ 既存生産者への技術的支援等による生産量の向上
- ・ 新規参入者の促進

(3) 新たな技術や手法を活用した林業経営の推進

森林環境
譲与税

- ・ 森林資源や施業内容等の情報をアプリで一元管理し、情報の共有・分析により労働生産性を向上
- ・ ICT技術の活用など新たな作業システムの導入を促進
- ・ 森林経営管理制度の意向調査を活用した施業地の確保・集約化

(4) 再造林・保育作業、林業DXを実行・推進できる人材の確保・育成

森林環境
譲与税

- ・ ふくい林業カレッジ等による即戦力となる人材の確保・育成
- ・ 月給制や適正な人事評価制度の整備等による林業従事者の待遇向上
- ・ 身体的負荷の低減につながる機械化、安全装備品の導入による労働災害発生の防止

II. 「自伐型林業（小さな林業）」の推進

■ 山村地域の活性化に寄与する自伐型林業の着実な推進

(1) 儲かる半林半Xのモデルづくり

- ・ 自伐型林業団体、地域おこし協力隊、協定企業等と協働した儲かる半林半Xのビジネスモデルを構築
(新の生産販売、宿泊体験、作業道を活用したトレイルやMTBレースの開催等)

(2) 都市部からの移住、定住を促進

森林環境
譲与税

- ・ 自伐型林業に取り組む移住者・定住者への継続支援
- ・ 技術習得期間の生活給付金制度の創設
- ・ 自伐型林業大学卒業後の自伐団体を設立しやすい環境づくり
- ・ 森林整備を希望する所有者とマッチング支援による活動フィールドの確保

III. 県産材の需要拡大の推進

■ B材工場の誘致等による県産材需要の拡大

(1) B材工場（合板・LVL工場等）の誘致

(2) 小規模製材工場の連携による付加価値製品を生産

(3) 意欲的な製材事業者の連携等による都市圏や海外での販路の開拓

- ・ 県産材を積極的に活用する工務店グループ等による県産材利用促進協定締結の推進
- ・ 木材事業者と商社の連携による首都圏やアジア圏での新たな販路の開拓
- ・ 大径材を利用した製品を建材メーカーとの連携により、販路を拡大

(4) 公共施設、住宅・非住宅での県産材利用の推進

- ・ ふくいウッドチャレンジ推進ネットワークの活用に加え、県外での非住宅分野での県産材利用の推進
- ・ 木構造設計チーム「FUKUIホルツアーキテクト」による中大規模施設の木造化の推進

(5) 製材業の新規就業者の育成・確保

■ 需要的確に対応できる合理的な流通体制の構築

(1) 県産材の需給調整を統括する組織の創設

(2) 木材市場（県内4か所）の連携等による原木流通の合理化

- ・ ICT技術を活用した木材流通システムの構築

■ 県産材利用の理解を深めるふくいの木運動の継続

(1) フクモクフェスの継続開催（主導を県から企業へ）

(2) 企業を対象とした勉強会等の開催

森林を「守り」「活かす」「慈しむ」プロジェクト

■ 山地防災力を強化した治山事業等の推進

(1) 効率的な森林土木事業に向けたICT技術の活用

- ・ UAVによる3次元測量、3次元設計データやMCバックホウ等を活用した遠隔操作による工事の効率化を推進

(2) 大規模災害時の対応に向けた体制づくり

- ・ 民国・他部局連携による被害調査の実施と必要な情報の共有
- ・ 災害等に対応できる技術者育成に向けた研修会の開催
- ・ 地域防災に貢献する山林保全監視モニターの育成

(3) 関係機関と連携した流域治水対策の推進

- ・ 流域治水プロジェクトによる地域の特徴を生かした対策の推進

■ 特用林産物の供給強化および地域資源を活用した新たな森林サービスの創出

(1) 新規生産者の開拓と栽培技術・生産量の向上

- ・ 新規参入者向けのパンフレットの作成や相談窓口の設置
- ・ 授産施設や農業生産団体等への生産拡大の支援
- ・ 新規生産者に対する研修会の開催や試験栽培への支援
- ・ 講習会の開催、専門家による継続した実地指導や講習会の開催
- ・ 種菌メーカーや県域普及員、県試験部が連携した生産指導

(2) 林業遺産や地域特産品の振興

- ・ 林業遺産品目に対する原料調達経費や資機材への継続支援の実施
- ・ 市町と連携した地域特産物への協働支援の実施

(3) 山林を利用したアクティビティの開催、樹木アロマや森林体験活動等の森林資源を活用したビジネスを創出

■ 公益的機能が発揮できる森林づくりの推進

(1) 天然更新の確保による多様な森づくりを推進

- ・ 低コストにつながる列状間伐による針広混交林化への誘導
- ・ 森林経営管理制度等により公的整備を実施
- ・ J-クレジット制度を活用した新たな収入源の確保
- ・ 天然更新可能な森林に適した主伐施業の実施

(2) 獣害や病虫害に強い森づくりを強化

- ・ 継続的な狩猟者等の確保・育成
- ・ 鳥獣害のない里づくり事業等によるシカ捕獲等の推進
- ・ 獣害の軽減や景観維持につながる山ぎわでの間伐等の推進
- ・ 獣害対策における低コストで効果的な維持管理や撤去方法の確立
- ・ 抵抗性マツの生産増強および植替えの推進

■ 全国育樹祭の開催理念を承継した緑と花の県民運動の永続的な展開

(1) 緑と花の県民運動の推進に加え「木を伐って使い、植え育てる」機運を社会全体に浸透

- ・ 森づくりの日にあわせ、「みどりと花の県民運動大会」を開催
- ・ 多様な県民ニーズを取り入れた各種イベントや研修を広域展開
- ・ 緑化活動や花づくりに意欲ある人材の育成や地域・団体への支援
- ・ 森づくり活動を希望する企業に対し、ニーズに応じたフィールド提供の機会を拡大

(2) ふくいの木の良さを伝え木と触れ合える機会を創出

- ・ 森林環境教育の推進体制の整備
- ・ 「元気な森づくり」のつながりを意識した木づかい運動の展開
- ・ 木育を意識した施設整備
- ・ トレイルイベントやアウトドア団体等との連携